

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

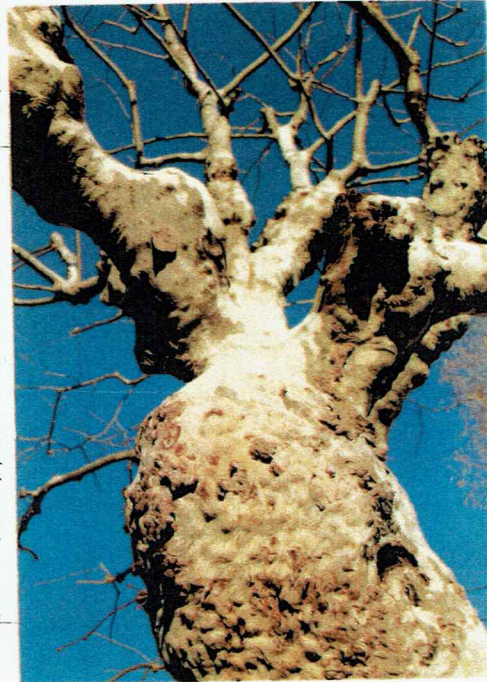
発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



何処ですか。
風景は
さすはら
る。
か木を育て
る葉は
赤い葉は

大きな木は 何百年も 見てきた。

身近な雑草に育てられてきたのだ
ホトケナギ。ランを思わす可憐な花を大きく見れば、ちままと派手な模様がある。
あれはハナのためのヘリホトケナギの。さうだ、そこに着陸したハナは今度は花の奥へと導く線を目にする。
この標識通りに進めば、ハナは空を



手にし、知らぬうち受粉作業も果す。ホトケナギの花は、誘客上手は任港である。
次はハコバ。その柔らかい茎をそと引張りとすると、細い筋が出てくる。
強すぎる茎は踏まれれば、ギンギンと折れる。柔らかいだけなら、雑草にちぎれる。ハコバの柔らかい葉と茎は



2010/05/14

中に丈夫な筋を持つ。柔らかい身のこなしに、心の通った強さ。実にあはれ生きさぶきた。
草むしり中に出土わすダンゴムシにも、驚かされるかの虫は、なせコンクリートブロックの廻りに蠢いているのか。あの鎧は炭酸カルシウムからできている。人が骨を強くするため、牛乳を飲むように、ダンゴムシはコンクリートを食べているのだ。標識完備の花に、ブロックを食へる虫。感心ばかりして、草むしりは進まない。

の様な
踊り出す彫刻
大木も舞台で
芸術の春



犬の押し相撲をして
神木に当たったのです。
鹿のホスか着を待つ。

